

## 1 板山露頭の位置

中央構造線の板山露頭は、伊那市高遠町板山地区にあります(図-1)。

高遠町の中心部から国道152号線で杖突峠方面に向かい、板山地区から山室に向かう小豆坂トンネルへの市道に入ってすぐに露頭に続く入り口があります。鹿よけのゲートがありますが、鍵をはすして中に入れます。

板山の伊東忠康さんは、旧高遠町教育委員会を動かし、板山区民と共に露頭の整備保存活動を実践されてきました。

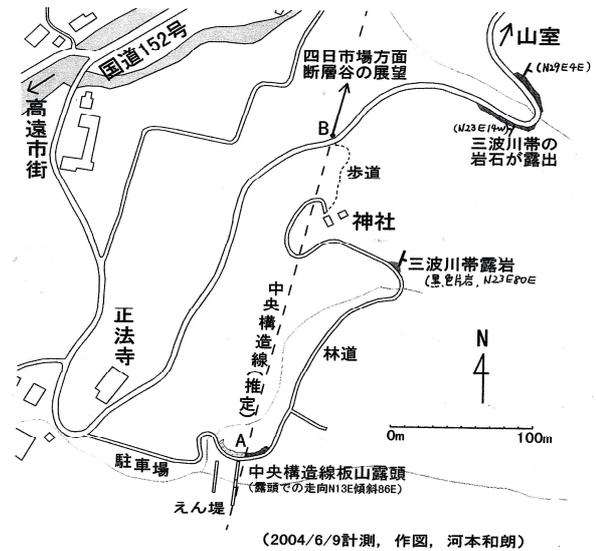


図1 板山露頭の位置(「中央構造線の露頭に光を」伊東忠康記より)



写真1 板山露頭全景(南側から撮影)

## 2 地域住民が大切に管理する露頭

断層露頭の上にはつつじを植えたり遊歩道を整備したりしています。また、林道の先にある展望台には、説明看板が設置されています(写真3)。板山地区の皆さんが、断層露頭や展望台を地域の宝として大切に整備保存活動を行っています。

### 3 断層露頭でみられる現象

断層露頭を正面に、左側の茶色い領家変成帯の岩石です。

右側は海洋堆積物が起源の、三波川変成帯の黒色片岩です。

この境界部分のほぼ直立したスジが中央構造線です（写真2）。

断層によって切れた線（面）はほぼ垂直に見えます。

右側の三波川変成帯の中で見られる筋状の構造が断層に向かって寄り添うように左上がりに見えます。

また断層面を水平方向に切って調べたところ、左横ずれを示す痕跡が見つかりました。これは、領家変成帯が、三波川変成帯に対し手前にずれる動きと上昇する動きが読み取れます。

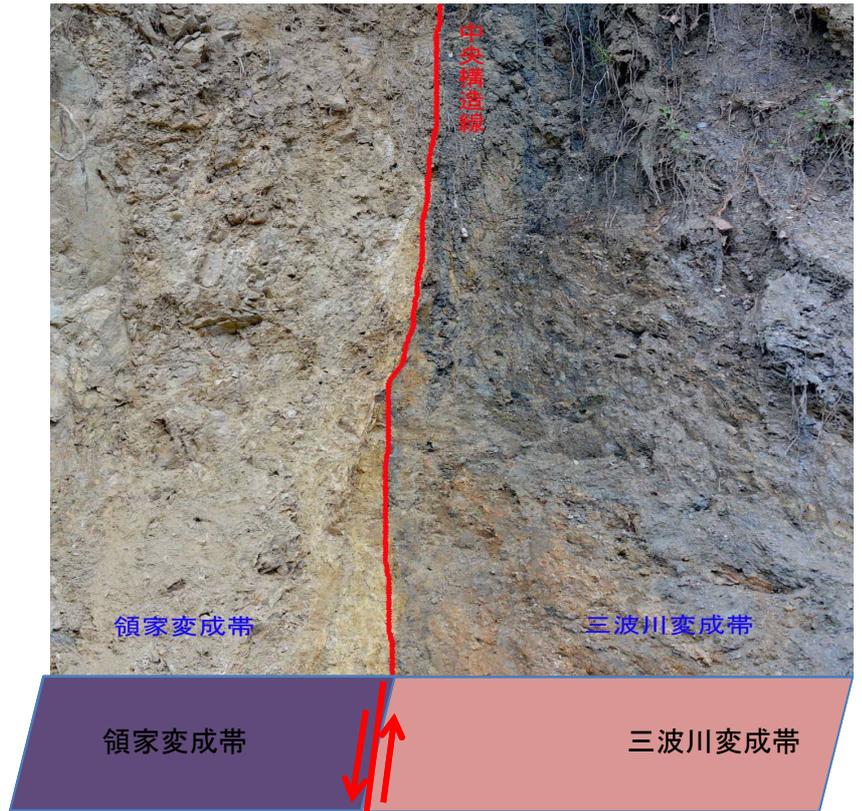


写真2 板山露頭の中央構造線付近の様子  
（左ズレとは赤矢印のように、断層を横に見た時、手前に対して反対側の地質体が左側にずれることをいう）

### 4 展望台で見られる非対称の谷地形

露頭を過ぎて林道の終点にある神社の丘に登ると、北方には中央構造線沿いに侵食された藤沢川の谷が杖突峠方面まで望むことができます（写真3）。

ここでは中央構造線に沿って侵食されてできた非対称の谷の様子を観察できます。

北にのびる谷の地形を眺めると、領家変成帯（左）は硬いため山が急になっています。三波川帯（右）は柔らかいため山の傾斜が緩やかになっています。



写真3 板山露頭北の断層地形を展望する

【参考文献：伊東忠康.2005.中央構造線の露頭に光を.自費出版】